



いよいよ7月から給食が始まります

副校長 岩井 則子

昨年度の3月から休止していた給食が始まります。給食がなくなってからというもの、私は昼食にコンビニやスーパーのお弁当ばかり食べていました。最初のうちは物珍しさもあっておいしくいただいていたのですが、さすがに4か月近くもの長い間となると飽きてしまい「早く給食が始まらないかな」と首を長くして待っていました。給食は毎回自分の好みのものばかり出るわけではありませんが、それもまた自分の食事のバリエーションをひろげることとなっていたことを痛感しました。「何でも食べていいよ」と言われるとかえって同じものばかり選んで食べてしまうということがあるということに気づきました。

今回の給食開始では、以前のように4人から6人くらいの班にして友達と楽しく会話をしながら…というわけにはまだまだいきません。コロナ対策の1つで、しばらくはみんなが前向きで食事に集中して食べることとなります。今まで私も、緊急受け入れの児童とお弁当の時間をいっしょにすごしたことが何度もありましたが、食事中的会話も少なめで、自分が食べ終わるとすぐにマスクをつけるというマナーが身についてきているように思いました。7月1日(水)は、1年生にとっては小学校生活初めての給食です。献立は「ソフトフランスパン・牛乳・魚フライ・野菜のスープ煮」です。おいしく、楽しく、残さず食べられるでしょうか。

数日前に7月の献立表が配られました。給食のある日には必ず給食4点セット「ナフキン・給食用ぼうし・マスク・給食用ハンカチ」を持たせてください。今月の給食のめあては「準備や後片付けを手際よくし、楽しく食べることができる」「いろいろな食べ物を知る」「配膳や後片付けの順序を工夫したり、安全に気を付けたりしながら協力する」です。7月22日までにはめあてが達成できるといいですね。

栄養職員は6年間白根小学校に勤務した佐藤麻実が異動し、脇坂侑里が着任いたしました。ご心配なことがあれば遠慮なくご相談ください。

給食開始に伴い、午後の授業も始まり、本格的に学校が再開します。中休み・昼休み・掃除の時間など児童の活動も広がり、静まり返っていた学校に一気に活気が戻ってくることでしょう。健康観察票の記入、マスクの着用などまだまだ制約が多く、保護者の皆様にはお手数をおかけしますが、引き続きご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

◆ 7月の目標 ◆

【生活】

学校のきまりを守ろう
気持ちのよい返事や
あいさつをしよう

【保健】

夏を健康に過ごそう

【給食】

準備や片付けの方法を覚え、
楽しく食べよう

分散登校が終わり、元気に登校しています



15日から全員がそろって登校するようになりました。朝、登校する時には、元気な挨拶が聞こえてきます。校舎内もやっといつものにぎやかな雰囲気に戻ってきた気がします。7月からは給食も始まります。熱中症に気をつけて引き続き元気に登校してほしいです。



学習のあしあと



5組

朝の運動がはじまりました！

5組では、運動に親しむため、朝の時間に運動を行っています。この日は音楽を流して10秒間走を行いました。久しぶりに全員集まった校庭で、朝から元気いっぱいの声と笑顔が弾けました！

高学年が低学年に優しく声をかける姿も見られ、少しずつですが、様々な学年が刺激しあういつもの学校生活に戻ってきています。



1年生

はじめての学校探検！

学校探検をしました。友達と、次はどこに行こうか相談しながら、ドキドキワクワクの様子でした。

初めて会う先生に名前を聞いたり、音楽室で大きなたいこを発見したりなど、充実した時間になったようです。みんな「学校探検楽しかったあ！」と笑顔を見せていました。これから、もっともっと白根小学校のことや、先生たちのことを知ってほしいなと思います。



2年生

大きく育て サツマイモ！

6月前半の分散登校中に、地域の齋藤さんの畑にみんなで出かけて、サツマイモの苗を植えました。ほとんどの子どもたちが初めて見るサツマイモの苗に、「これがサツマイモに育つんだ。」と興味津々の様子でした。これから夏の間に大きく育て、秋にたくさん収穫できることが楽しみです。

これからも齋藤さんの畑に定期的に出かけて、サツマイモの成長の様子を観察していきたいと思います。



3年生

自分だけの色を見つけました！

初めて自分の絵の具を使って、図工の学習を行いました。筆洗やパレットの使い方、色の混ぜ方などを知り、いろいろ試しながら自分だけの色を見つけました。

「水が少ないと、かすれていくね！」「すごくきれいな色ができたよ！」など、とても楽しそうに取り組んでいました。これからも絵の具を使って、楽しく学習をしていきたいですね。





4年生

学年目標「グロウイング・アップ」

「Growing up」は成長する、成人する、大人らしくふるまうという意味です。小学校生活の後半期を迎えた子どもたちは10歳となり、下級生と関わる際にはお兄さんお姉さんとして接することとまります。子どもたちも上級生として頑張りたいと願いをもっているようです。そんな子どもたちが10才を祝う会を終え、自信をもって高学年になれるように、グロウイング・アップを合言葉に1年間で大きく素敵な成長をしていってほしいです。



5年生

委員会活動が始まりました

高学年になり、委員会活動が始まりました。初めての委員会活動に張り切っている様子でした。

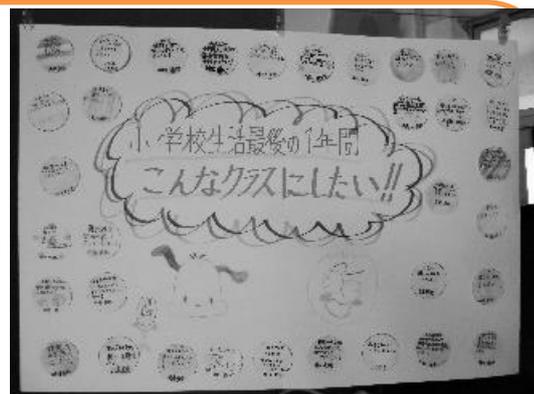
「今日は、何組が当番だっけ?」「今日、委員会があるので行ってきます。」など、自分たちの仕事に責任をもって楽しみながら仕事をしていました。これからも学校の中心となって働く5年生に期待しています。



6年生

最後の一年がんばるぞ!

小学校生活最後の一年間が本格的にスタートしました。それぞれのクラスで、どんなクラスにしたいか、どんな一年間を過ごしたいかを話し合いました。仲の良いクラスにしたいという意見やお互いがフォローをしあって協力していきたいという子ども一人一人の思いを大切にしていきながら、そんなクラスになるように子どもたちと頑張っていきたいと思います。



児童支援専任より

「児童支援専任」という教諭が各学校に一人ずついることをご存知の方は、数年前に比べて少しずつ増えてきているでしょうか。「児童支援専任教諭制度」は、子ども一人一人が安心して自分らしく学校生活を送ることができるよう平成22年からスタートし、平成26年度で市内全校に配置されました。児童支援専任教諭は学級をもたず、いじめなどの人間関係上のトラブルや不登校、特別支援的な配慮など、様々な困り感のある子どもや保護者と向き合い、解決や改善の方法を探っています。中には学校だけでは難しい問題もあり、そのような時には学校カウンセラーや外部の相談機関などの窓口にもなっています。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で例年にはないスタートとなりました。いつもとは違う状況で始まった学校生活に不安を感じている子やご家庭も多いかと思います。学校では、一人一人の心に寄り添えるよう、リラックスできる深呼吸を教室で行ってみたり、アンケートを行うことでお子さんの不安感を教職員が共有したりしながら、いつもより「ゆっくりめ」なスタートを心掛けてきました。そのためか、はじめは緊張気味だった子どもたちの顔も、少しずつ笑顔が多くなり、学校に活気が戻ってきています。しかし、心のストレス反応は、緊張状態が少しやわらいだころ表れてくると言われています。分散登校から全員一斉登校にうつり、少し慣れてきた今が、まさにその時かもしれません。ご家庭でもお子さんの様子を見ていただき、少しでも気になることがありましたら、担任や養護教諭、児童支援専任などにどうぞ遠慮なくご相談ください。

(児童支援専任 佐藤 妙恵)

